

令和7年度第1回此花区区政会議でいただいたご意見に対する取組

対応分類：①対応済（継続実施） ②令和7年度から対応中 ③令和7年度では対応できないが今後引き続き検討予定 ④対応困難又は対応不可

No	委員からいただいたご意見	委員名	対応分類	取組(案)	担当
1	魅力発信班の提案の中に、正蓮寺川公園にスケートボードの練習場。賛成です。一箇所ではなく複数箇所あったほうがと思います。昔此花区ニラサのスポーツ施設と言われて、ラサに行けば何かしら遊べと言われてました。正蓮寺川公園もそんな風になればと思います。	井出委員	③	正蓮寺川公園の活用につきまして、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 正蓮寺川公園は、本市建設局が整備事業等を所管していることから、建設局にご意見を共有させていただくとともに、引き続き区政会議において、皆様よりご意見をいただきたいと考えております。	政策共創課
2	折に触れ、イルミネーションについて述べているが、あまりにも対応が遅すぎ、既に期間の1/4を経過しているが、完成に至らず、正に、我々の税金を捨てている様なありさまが続く。時々見に行くが、もうずい分長い間、公園のこの部分（下図）点灯していない状況が続いている。担当課の方は、チェックに行かないのか？業者に伝えないのか？特に公園部分のイルミネーションが色々酷い。白ライトの色目がバラバラ。地球バルーンは言うまでもない。早い改善、期間延長を求めます。駅、橋の点灯時間が12時まで延びたのは少しホッとしたが、「良かった！」というより、「当たり前」な状態になっただけ。概ね納得がいかない。個人宅やお店が独自にしているイルミネーションの方が洗練されている様に見える。 (図) 	角林委員	②	当区イルミネーションプロジェクトに関しまして、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 不十分な箇所があったことは事実であり、ご心配をおかけしましたが、事業者に改善指示を行い、改善を行っております。 また、イルミネーションについては肯定的なご意見もいただいております。	政策共創課

令和7年度第1回此花区区政会議でいただいたご意見に対する取組

対応分類：①対応済（継続実施） ②令和7年度から対応中 ③令和7年度では対応できないが今後引き続き検討予定 ④対応困難又は対応不可

No	委員からいただいたご意見	委員名	対応分類	取組(案)	担当
3	広報における「新しいカタカナ」の使用について 前回の私の要望に対して「広く共通認識されており、その用語そのものに意味がある言葉はそのまま使用する」とのご回答、ありがとうございます。 「広く共通認識されている」とは区民のだれもが知っているという意味だと思います。その観点で要望です。 広報このはな8月号 3頁 03健康推進区 ★がんリテラシーの向上によるがん検診受診率向上 この「がんリテラシー」、私が40代から70代の友人7名に聞いたところ、わかる人はゼロでした。 私は此花区のホームページで「がんに関する正しい情報収集・理解・活用する能力」と知りましたので「がんリテラシーの向上によるがん検診受診率向上」とは「がんについてよく知ってがん検診受診率向上」と解釈しましたが、ほとんどの区民には伝わらないと思います。そこで提案です。 新しいカタカナを広報で使用しようとする際には、 1. 事前に幅広い年齢層にモニタリングする 2. モニタリングの結果、わからない人がいる場合は以下の対応 (1) そのカタカナを浸透させる必要のない場合：わかりやすい日本語にする (2) 浸透させる必要がある場合：（ ）や※で説明を加える 区民に対する広報の合目的性向上、つまり区民のだれにも伝わる広報のため、ぜひご検討ください。	陶山委員	③	広報における言葉について、たびたび貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいておりますとおり、「新しいカタカナ用語」について、年代や場合によっては地域ごとに、馴染みが薄く、分かりづらいという側面があるとは存じます。しかし、区の施策を進めるにおいて、浸透を図りたい言葉でもあることから、新しいカタカナ用語などを用いる場合は、注釈を付けるなど、どなたにも理解していただけるよう工夫しながら広報を行いたいと考えておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。	政策共創課